

め、早期事業化をめざして取り組む。



神辺町川南地区を望む

労組役員給与訴訟判決について

問 最高裁は上告を棄却し、市長の敗訴が決定した。①市長は市民に謝罪し、労組役員8名に3619万円余の給与返還を命じることを求める。②高裁判決が「法治主義に基づく行政の本質に反する」と指摘した自治体のあり方に抵触する自治体改革推進会議の解消を強く求める。

答 ①最高裁の決定は真摯に受け止めている。今後、訴訟の争点となった期間の請求をしていく。②高裁の指摘事項は既に改善している。この会議は、市民サービス向上と効率的・効果的な行政運営

につなげているが、今回の決定を受け、改めて検証し、市民の皆さまにより分かりやすい制度となるよう努める。

◆関連質問

- ・自治体改革推進会議の今後のあり方について（水曜会）
- ・違法公金支出金返還請求事件の判決について（明政会）
- ・給与訴訟について（公明党）

新政クラブ



浜本 洋児 議員

東部地区フィーダーバスの実証運行は

問 生活バス交通の維持のため、バスの利便性向上に向け、昨年11月から東部地区でフィーダーバスの実証運行を行っている。利便性が良く高く評価されているが、路線の維持には地域と協働して利用促進を図る必要がある。利用客増加に向けた取り組みは。

答

実証運行では、市民病院線9往復、鋼管病院線7往復を運行し、本年1月末までに約5500人の利用があった。現在、バス利用者や沿線の施設の利用者を対象にアンケート調査を実施しておりこの結果を踏まえ、地元自治会や沿線の病院、学校などと連携し、利用促進に向けて運行内容などの見直しや周知活動に取り組む。



試験運転中のフィーダーバス（鋼管病院前）

徴収業務の一元化は

問 21年度の債権回収に関わる収入未済額は、市税が約36億円、市税以外が約62億円で、合わせて約98億円の財源が確保できていないといえる。現在、収

納事務は各担当部署で行っており、その収納率にはバラつきがある。人材、能力の集中化と情報の共有化などにより効率化を図るため、徴収業務を一元化してはどうか。

答

以前、一定額を超える滞納を担当する滞納金整理事務所を設置し取り組んだが、説明責任や財源確保の責任の所在などで課題があった。現在、他都市では徴収の一元化を行っており、今後も効率的な徴収業務のあり方を研究する。

◆関連質問

- ・収納率の向上に向けた取り組み（明政会）

無所属



大田 祐介 議員

タクロバン市との交流は

問 30年前に福山歩兵第41連隊の歴史的経緯から親善友好都